

令和6年度「下妻市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」事業評価書

1 戦略における事業

「第2期 下妻市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」は、人口減少と地域経済縮小の克服、また地方創生と地域経済の好循環の確立を進めていくため策定した計画であり、88の具体的事業（再掲を含めない）を位置づけている。

令和6年12月末日現在、84事業を実施した。

2 戦略の期間

令和2年度から令和6年度までの5ヶ年とする。

3 事業の実施状況

政策分野	具体的施策	計画事業数	実施事業数
1	1-1-1 中心市街地の活性化	6	4
	1-1-2 公共交通・交通ネットワークの充実	5	5
	1-1-3 健幸まちづくりの推進	4	4
	1-1-4 地震や風水害など地域防災・防犯の強化	4	4
	1-2-1 公共施設のマネジメント強化	1	1
	1-2-2 社会情勢の変化に対応した持続可能なまちづくり	2	2
2	2-1-1 市内定住のための受け皿の整備	3	3
	2-2-1 市外からの転入支援（定住促進）	3	3
	2-2-2 空き家対策及び空き家の活用促進	1	1
	2-3-1 観光資源の活用と魅力度アップ	3	3
	2-3-2 ブランド戦略とシティプロモーション	4	4
3	3-1-1 出会いの場の創出	3	3
	3-1-2 希望する子どもの数実現への支援	2	2
	3-2-1 待機児童ゼロ・児童クラブの充実	3	2
	3-2-2 利用者支援	2	2
	3-2-3 子育て環境の充実	9	9
	3-2-4 ワーク・ライフ・バランスの実現支援	3	3
	3-2-5 質の高い教育環境の整備・充実	7	7
4	4-1-1 優良企業の誘致と地元雇用の創出	5	5
	4-1-2 新たな産業の創出・起業支援の促進	2	2
	4-2-1 6次産業化推進・グローバル化への対応	2	2
	4-2-2 担い手の育成支援・新規就農者の育成	5	5
A	A-1-1 市民協働のまちづくり	4	3
	A-1-2 ソトの力の活用	2	2
B	B-1-1 新技術を活用したまちづくり	1	1
	B-1-2 SDGsの推進	2	2
計		88	84

※複数の具体的施策で掲載された同一の事業は、最初に位置づけられた具体的施策において事業数をカウントする。

4 政策分野別の達成状況

《政策分野 1 市民が誇りと愛着をもって健康に暮らせるまちづくりを目指します》

数値目標 (KGI)

項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 6 年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
下妻市に愛着をもっているか (アンケート調査)	44.5%	48.6%	50.0% (到達目標 65.0%)	97.2	10
居住誘導区域内における人口 密度	25.0 人/ha (平成 27 年度)	25.2 人/ha	25.0 人/ha	100.8	

重要業績評価指標 (KPI)

具体的 施策	項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 6 年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
1-1-1	さん歩の駅サン・SUN さぬま利用者数	79,480 人/年 (平成 30 年度)	68,482 人 (R6.1~12)	98,000 人/年	69.9	11
	Waiwai ドームしもつま 利用者数	68,126 人/年 (平成 30 年度)	64,546 人 (R6.1~12)	100,000 人/ 年	64.5	
1-1-2	常総線下妻駅乗降客数 (1 日平均)	1,825 人/日	1,758 人	1,850 人	95.0	12
	バス運行ルート総延長	16.6km	25.3km	23.4km	108.1	
1-1-3	はつらつエクササイズ 教室参加者数	450 人	286 人	600 人	47.7	13
1-1-4	防災アプリダウンロード 数	-	9,315 ダウンロード	2,500 (到達目標 7,000)	372.6	14
1-2-1	最適化した公共施設数 (施設の更新・統廃合・長寿 命化や用途変更等による利 活用)	2 施設	16 施設	5 施設	320.0	15
1-2-2	図書館通り(市道 1408 号 線)の路線価の変動率	-6.57%	-10.85%	±0.00%	89.1	16

●取組成果・課題

- ・Waiwai ドームしもつま利用者数については、新型コロナウイルス感染症の流行における影響で、一時的に利用者数が落ち込んだが、利用者数の少ない平日の利用頻度を上げるために、Waiwai プレイパーク事業を展開し、放課後の幼児・児童を対象とした運動遊び教室を持続的に開催したことで、コロナ前の水準に戻りつつある。
- ・最適化した公共施設数については、公共施設等マネジメント基本方針に基づき、公共施設の保有量(延床面積)を 30 年間で 30%の削減を掲げており、着実に取り組みを進めている。

《政策分野2 地域の魅力発信と新たな人の流れの受け皿づくりを目指します》

数値目標(KGI)

項目	基準値	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
社会移動増減数	-29.3人/年 (過去10年平均)	178.6人/年 (令和2~6年平均)	±0人/年 (令和2~6年平均)	609.6	17

重要業績評価指標(KPI)

具体的 施策	項目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
2-1-1	住宅リフォーム資金補助件数	16件/年	33件/年	30件/年	110.0	18
2-2-1	移住支援金支給件数	-	3件	5件(累計)	60.0	19
2-2-2	空き家物件情報紹介件数	4件/年	35件	15件(累計)	233.3	20
2-3-1	観光客入込客数	1,596,809人	1,390,479人 (R6.1~12月)	1,600,000人	86.9	21
2-3-2	フェイスブック記事掲載数	557件	93件/年	400件	23.3	22
	下妻ブランド輸出品目数	3品目	3品目	10品目	30.0	
	まちメディア サママー(SNS) 総フォロワー数	2,122人 (R4.12月時点)	7,852人	12,000人	65.4	

●取組成果・課題

- ・社会移動増減数については、企業誘致や移住施策等の展開により転入者増に一定の効果があったと考えられる。一方で、転入者の内訳をみると外国籍の方が増えている現状にあることから、外国人の受け入れ体制を構築し、多文化共生社会の推進を図る必要がある。
- ・フェイスブック記事掲載数については、基準値から年々減少しているが、時代にあわせた SNS ツールを活用しており、LINE やInstagram による多角的な情報発信に移行している。
- ・魅力発信の観点では、地域おこし協力隊によるまちメディア「サママー」でのインタビュー形式の地元の魅力情報発信や、市公式プロモーションビデオの制作、下妻市イメージキャラクター「シモンちゃん」の公式 LINE スタンプの販売など、対外的なプロモーションに取り組んだ。

《政策分野3 結婚・出産・子育ての希望の実現、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します》

数値目標(KGI)

項 目	基準値	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
合計特殊出生率	1.49 (平成20～24年 ベース推定値)	1.33	1.64	81.1	23

重要業績評価指標(KPI)

具体的 施策	項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
3-1-1	マリッジサポーター数	6人	2人	10人	20.0	24
	婚活イベント参加者数	141人/年	30人/年	200人/年	15.0	
3-1-2	出生数増減率 (過去5年平均)	97.2%	97.4%	98.0%	99.4	25
3-2-1	待機児童数	11人	0人	0人	—	26
3-2-2	利用者支援事業利用件数	970件	1,224件	720件	170.0	27
3-2-3	子育て支援センター利用者数	5,461人/年	5,757人	3,600人/年	159.9	28
	ママサポしもつまアプリ 登録人数	292人	70人 (累計1,006人)	100人/年 (到達目標700人)	70.0 (累計比 143.7)	
	下妻で育児をしたい親の 割合(保健センター実施 アンケート)	89.2%	86.7%	90.0% (到達目標95.0%)	96.3	
3-2-4	広報等情報提供回数	2回	2回	4回/年	50.0	30
3-2-5	タブレット端末導入台 数	381台	3,300台	3,300台	100.0	31
	英検3級相当以上の英語 力を有する生徒の割合 (中学3年生)	53.3%	54.8%	60.0% (到達目標65.0%)	91.3	

●取組成果・課題

- ・合計特殊出生率については、H25～H29の合計特殊出生率が1.54に一時改善したものの、晩婚化・非婚化の流れを止めることができず、H30～R4の合計特殊出生率は1.33に低下した。
- ・英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合については、計画期間の5年平均(55.4%)では基準年の割合を上回ることができたが、目標値には及ばなかった。

《政策分野 4 安定した雇用の創出と市内就業人口の増加を目指します》

数値目標 (KGI)

項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 6 年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
就業者率 (15 歳以上就業者数 /15 歳以上総数)	58.8% (平成 22 年度)	58.7%	60.0% (到達目標 61.0%)	97.8	33
市内総生産額	1,953 億円	1,966 億円 (令和 3 年度)	2,800 億円	70.2	
認定農業者数	291 人	241 人	325 人	74.2	
農業法人数	15 法人	29 法人	30 法人	96.7	

重要業績評価指標 (KPI)

具体的 施策	項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 6 年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
4-1-1	新規誘致企業分譲面積	29.5ha (H27~R 元年度)	11.0ha	15.0ha (R2~6 年度)	73.3	34
4-1-2	新規起業家支援講座受講者数	18 人/年	25 人/年	20 人/年	125.0	35
	創業者数	3 件/年	4 件/年	4 件/年	100.0	
4-2-1	6 次産業に取り組む生産者への支援件数	3 件	3 件	5 件	60.0	36
	農地保有適格法人数	8 法人	20 法人	10 法人	200.0	
4-2-2	農業次世代人材投資資金給付者数	24 人	38 人 (経営体)	34 人 (累計)	111.8	37

●取組成果・課題

- ・市内総生産額については、目標値を下回ったが、基準年の数値と比較すると伸びている。今後においては、工業団地に誘致した企業が操業を開始したことにより、生産額が大きく伸びることが期待される。
- ・認定農業者数については、高齢化により離農する方が増えており、年々減少傾向にある。一方で、新規就農希望者の確保に向け、地域おこし協力隊の制度を活用し、新たな農業の担い手を都市部から呼び込むなど、新規就農の支援に取り組んだ。

《横断的政策分野A 多様な人材の活躍を推進します》

数値目標(KGI)

項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
関係人口	6,000 人	78,000 人	10,000 人 (到達目標 100,000 人)	780.0 (78.0)	38

重要業績評価指標(KPI)

具体的 施策	項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
A-1-1	市民が主体となったまちづくり推進事業数	6 件	1 件	10 件	10.0	38
	産官学連携事業数	1 事業	0 事業	2 事業	0.0	
A-1-2	企業版ふるさと納税・クラウドファンディング型ふるさと納税活用数	1 件	31 件	5 件 (累計)	620.0	39

●取組成果・課題

- ・市民が主体となったまちづくり推進事業数については、コロナ禍で従来の市民活動が縮小したことや住民ニーズの変化から、事業数が伸び悩んだ。
- ・ふるさと納税関連事業については、魅力ある返礼品の開発・拡充等により、件数・寄附額ともに大幅に伸長した。本市の関係人口の定義は、ふるさと納税寄附者数を指標として捉えていることから、全国の多くの方に下妻市の魅力ある返礼品を届け、市のPRに繋がった。

《横断的政策分野B 新しい時代の流れを力にします》

数値目標(KGI)

項 目	基準値	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
地域経済循環率	98.0% (H25年)	96.3% (H30年)	105.0%	91.7	40

重要業績評価指標(KPI)

具体的 施策	項 目	基準値 (令和元年度)	現況値 (令和6年度)	目標値 (令和6年度)	達成度 %	総合戦略 ページ 番号
B-1-1	AI・RPA*等を活用した事務 事業数	0事業	5事業	3事業	166.7	41
B-1-2	下妻市独自のSDGsの取 組	6事業	13事業	8事業	162.5	

*RPA：Robotic Process Automationの略。データの移し替えや定型業務などの単純作業を、パソコン上で内部的にロボットに作業をさせることの総称。

●取組成果・課題

- ・地域経済循環率については、最新の数値では基準値を下回っており、地域内の生産所得・消費額を向上させ、所得が外部に流出しにくい仕組みをすることで、地域経済循環率を高める必要がある。
- ・AI・RPA等を活用した事業数については、効率的に事務事業を進めるためのツールを導入し、全職員が活用できるよう、独自の職員研修に取り組むなど、着実に取り組みの数を増やしてきた。また、市民にとっても、スマホからオンライン申請等が可能となるなど、デジタル技術を活用した手続きの推進を図った。
- ・下妻市独自のSDGsの取組については、SDGsの普及啓発及び達成に向けた取り組みの一層の推進を図るために、市内の企業や学校などの団体と連携した「SDGsパートナー制度」の創設をはじめ、「2030SDGsカードゲームのファシリテーター取得」など、13の取り組みを行った。

5 第2期総合戦略における数値目標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）の達成状況

5 - 1 政策分野別の目標指標達成度の比較（第1期・第2期）

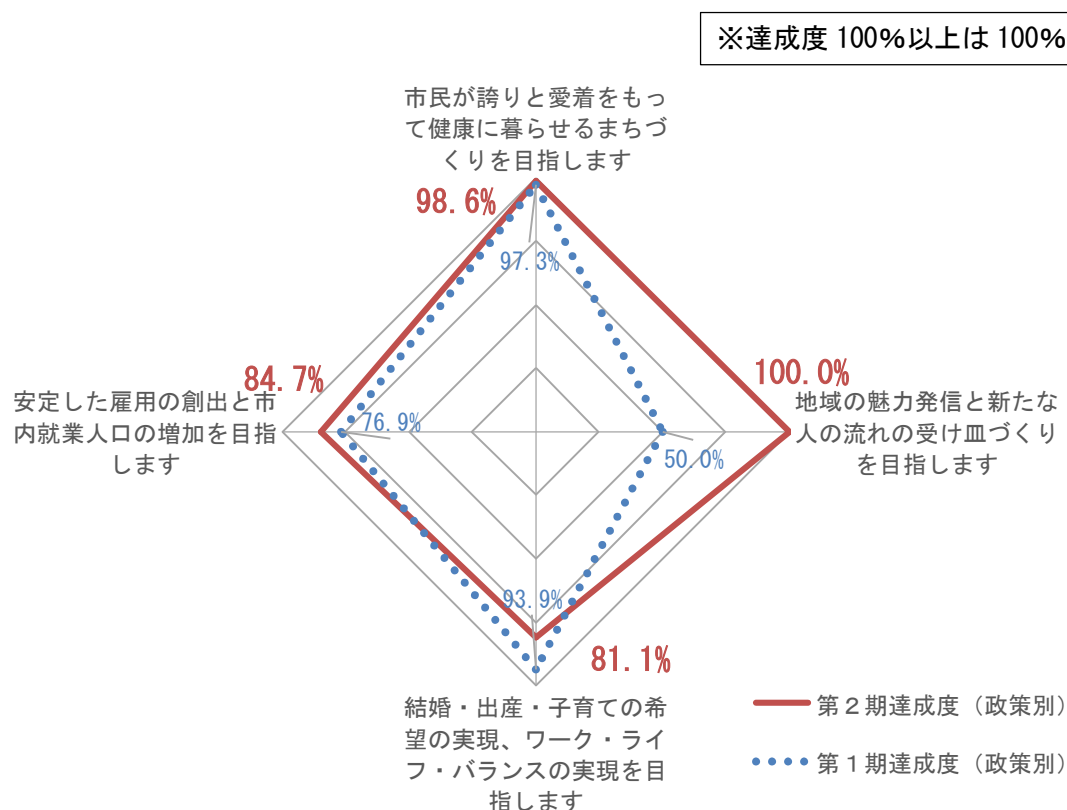


図1 政策分野別の目標指標達成度の比較（第1期・第2期）

●達成状況・評価

- ・概ね第1期よりも第2期の成果が上回ったと評価できる。
- ・政策分野2「地域の魅力発信と新たな人の流れの受け皿づくりを目指します」の目標指標については、社会移動増減数に起因する指標のため、外国人転入者の増が大きく寄与しており、必ずしも施策による成果とは言い難い。
- ・政策分野3「結婚・出産・子育ての希望の実現、ワークライフバランスの実現を目指します」の目標指標については、合計特殊出生率の低下により前回の指標を下回った結果となったことから、出生率の向上を目指し、より一層の取り組み強化を図る必要がある。

5 - 2 数値目標別 KGI の達成状況

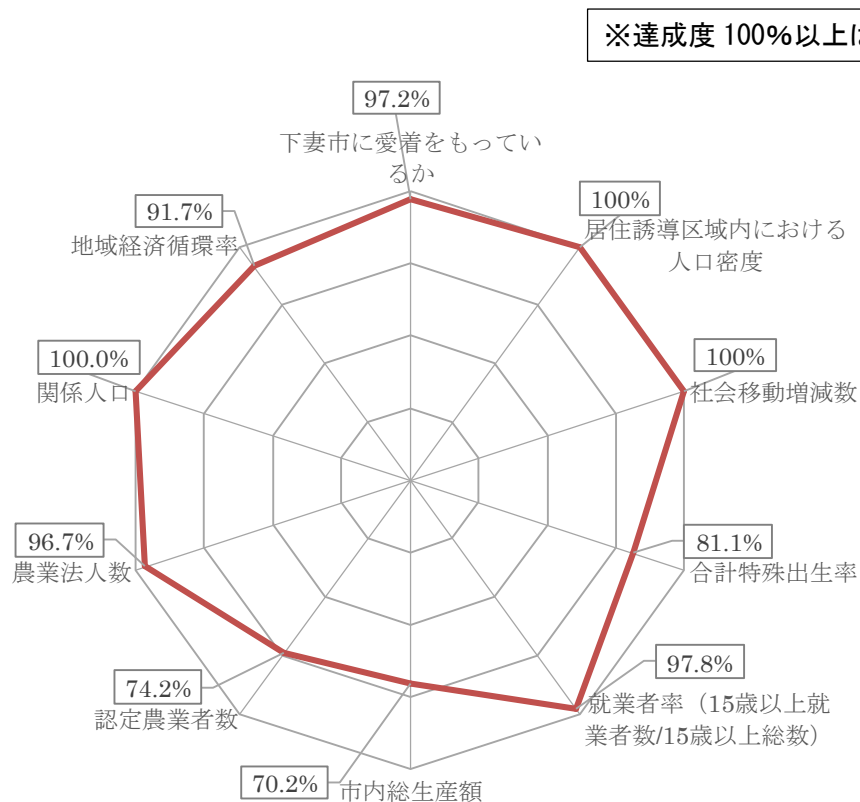


図2 数値目標別 KGI の達成状況

●達成状況・評価

- ・第2期総合戦略を設定した当時の目標値を達成している指標が複数みられることから、施策の取り組みに一定の成果があったと評価できる。
- ・合計特殊出生率、市内総生産額、認定農業者数の目標指標において、数値目標を下回っていることが顕著に見てとれることから、これらの数値を向上させる取り組みの強化を図る必要がある。

5 - 3 政策分野別 KPI の達成状況

※達成度 100%以上は 100%として表示

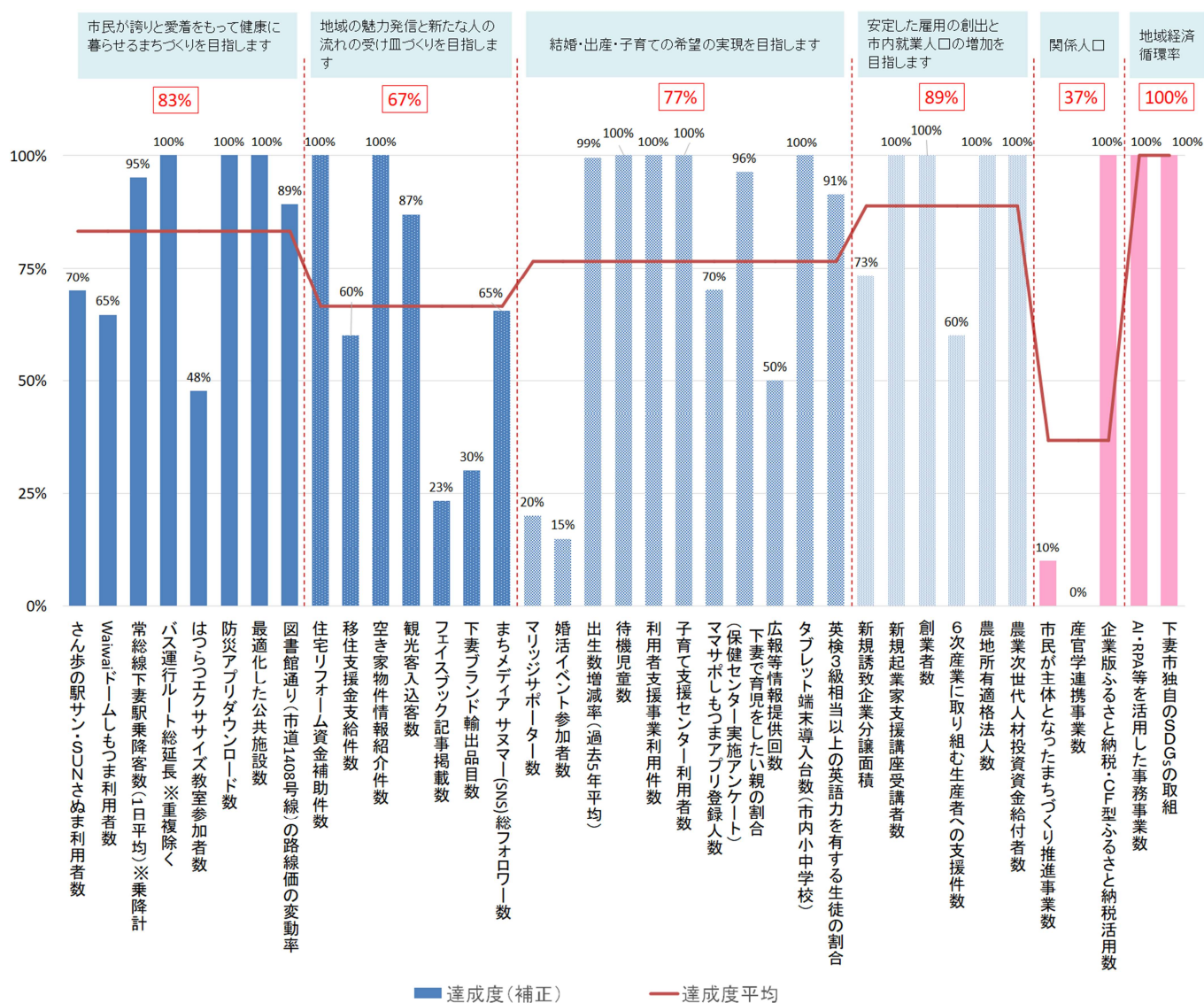


図3 政策分野別 KPI の達成状況

●達成状況・評価

- ・政策分野別 KPI の達成率については、全ての指標を平均して約 75%となっている。100%の達成率の指標がある一方、50%に満たない達成率の指標も多い。
- ・令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大により市の施策にも大きな影響があったことなど、第2期総合戦略の策定当時とはトレンドが変わった指標もあることから、未達成だった項目が努力不足だったとは一概には言い難いが、取り組むべき課題が明確な結果となった。